

## カメムシ目、アザミウマ目及びコウチュウ目害虫抵抗性ワタ MON88702 系統(飼料) に係る食品健康影響評価について

### 1. 経緯

遺伝子組換えワタ「カメムシ目、アザミウマ目及びコウチュウ目害虫抵抗性ワタ MON88702 系統」(以下「MON88702 ワタ」という。)については、平成 30 年 3 月 9 日付けで日本モンサント株式会社より遺伝子組換え飼料の安全性審査の申請があったことから、食品安全基本法(平成 15 年法律第 48 号)第 24 条第 1 項の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

### 2. 評価依頼品種の概要

MON88702 ワタには、カメムシ目、アザミウマ目及びコウチュウ目に対する抵抗性を付与するため、改変 *cry51Aa2* 遺伝子が導入されている。

*Bacillus thuringiensis* 由来の *cry51Aa2* 遺伝子を改変した、改変 *cry51Aa2* 遺伝子によって産生される改変 Cry51Aa2 たん白質は、特定のカメムシ目、アザミウマ目及びコウチュウ目昆虫に対して殺虫活性を示すことで、植物にこれらの害虫への抵抗性を付与する。

### 3. 利用目的および利用方法

MON88702 ワタの飼料としての利用目的や利用方法は、従来のワタと相違がない。

### 4. 諸外国における申請等

申請国	申請・確認年月	申請先
米国	2017 年 3 月申請	米国食品医薬品庁 (FDA)
カナダ	2017 年 7 月申請	カナダ食品検査庁 (CFIA)
オーストラリア・ ニュージーランド	2017 年 9 月申請	オーストラリア・ニュージー ランド食品基準機関 (FSANZ)